

美しい福島 naturally ~磐梯の恵み~

M. M.

私は、磐梯山の噴火口と銅沼がいちばん見たかったので、磐梯山火口探検・銅沼コースを選びました。調べ学習をしていたときに、銅沼には鉄分が多く含まれていて茶色っぽい色をしているということを知ったので、ぜひ自分の目で見てみたいと思いこのコースを選びました。

磐梯山・裏磐梯の自然のあらし



磐梯山は、明治21年(1888年)に水蒸気爆発型の噴火をし、多数の犠牲者を出してしまったそうです。それから、大きな岩なだれが起こってしまい川をせき止めし、たくさんの湖や沼ができてしまったそうです。噴火前は、裏磐梯の人々はブナ林でお椀などを工作していたそうです。そして噴火後は福島県を代表する観光地に生まれ変わりました。

「中の湯」温泉

硫黄の匂いがしてきて、目の前に少し青い乳白色の露天風呂が現れます。ところどころブクブクと気泡を伴い源泉が湧き出しています。全体はたくさん水が流れ込んでいたので温度は低かったのですが、出場所によっては少し温度の高いところもあります。



「中の湯」は10年以上前に営業は終わってしまいました。磐梯山登山で疲れた足を湯につける方や秘湯好きの方が入浴されていたようですが、今は立ち入り禁止です。しかし私たちは、その中の湯の湯に手でふれることができたのでとてもよかったです。また、中の湯は磐梯山が噴火したときも営業されていたそうです。



美しい銅沼



目的地の銅沼はとても面白い色をしていました。銅沼は鉄分がとても多く含まれていて赤茶色をしています。銅沼は磐梯山の噴火で流れ込んだ溶岩に鉄分が含まれているためです。

銅沼は、ガルデラの1番奥、ガルデラ壁のすぐ北側にあります。水素イオン濃度指数 (ph) が3の酸性の沼で鉄。アルミニウム・マ

ンガンなどの金属イオンが多量に溶けています。湖底には水酸化鉄を含んだ赤い泥が溜まっているため、全体的に赤茶けて見え赤泥沼とも呼ばれます。沼の中に植物がほとんど見られないのは、金属イオンを多量に溶かしこんでいる酸性の水質のためです。

また、ネイチャーガイドの佐藤先生によると、銅沼は鉄分がとても多く含まれているため、魚たちが暮らせる環境ではないということでした。魚などの鳥たちの餌になるものがないので、鳥も銅沼にはいないそうです。

しかし銅沼のバックには美しい磐梯山があり、とてもきれいで素晴らしい景色でした。

不思議な木々

浄土平周辺には、たくさんの高山植物・花や木がありました。道を歩いていると、不思議なことに気付きました。それは…、浄土平周辺の木々がすべて極端になめ上をむいて立っていることです。どの木も人の身長ほどしかありませんでした。さて、なぜなのでしょう？

ネイチャーガイドの二階堂先生によると、木が生長している最中の冬に木の上に雪が積もり、その雪の重みで上へと成長ができず、横へと少しずつすることを毎年繰り返した結果、そのようになってしまったとのことでした。



山道で出会った高山植物

シラタマノキ

山道を登っていくとたくさんの高山植物に出会うことができました。

1つとても驚いてしまった植物があり

ました。それはシラタマノキというツツジ科の植物だったのですが、ちょうど私たちが林間学校で行った9月が実り期で名前の通り白玉になっているような、とてもかわいらしい実でした。

ネイチャーガイドの先生がシラタマノキの実を3つほど採ってくださいました。「その実をつぶして匂いをかいでごらん」と言うので、つぶして匂いをかいでみました。…なんと、湿布薬（シップ）のにおいがするのです！ それにはとても驚きました。このシラタマノキの実というのは、本当に湿布薬に使われているとのことでした。

エゾリンドウ

分布が中部地方以北と北海道なのでエゾが付き、根が苦くリンドウと同じ薬効があります。あまりに苦いので、龍の胆のようだと言うことで名前が付いたそうです。また、開花時期が私たちが林間で訪れた9月でした。（8月～9月）



ナナカマド



ナナカマドはバラ科の植物です。小さな白いかわいらしいお花を咲かせます。ナナカマドの木は七日間かまどに入れて炭にすると、とても良い炭になるということで「ナナカマド」という名前になったそうです。他にもたくさんの植物と出会うことができます。

福島 裏磐梯はとても興味深い発見のできるすばらしいところです。会津・裏磐梯に1度行ってみることをおすすめします。